

# 自己評価表

1/3

事業所名	ハルちゃん happy smile
------	-------------------

令和5年3月実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			3つの部屋に分けて、
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基準以上に配置している。
	③	職員の専門性は適切ですか	<input type="radio"/>			2年以上の実務経験者が支援にあたっている。 児童指導員の有資格者が半数以上いる。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			毎週職員会議を開いて対応している。業務開始前にブリーフィングを毎日行っている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			最低年1回実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページに公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	今後、検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			オンライン研修を活用して全職員が参加できるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			時間をかけて、傾聴の姿勢で面談を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			指示カードなどを使い日々のプログラムで視覚支援をしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			定例会議にて、意見を出し合っている。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			毎月、継続か、内容の見直しを話し合っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			個別に課題を設定して計画を立ててきめ細かく支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			支援方法についていつでも活発に意見が言い合える雰囲気が出てきている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			毎日ブリーフィングを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			支援方法についていつでも活発に意見が言い合える雰囲気が出てきている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			PCのマネジメントシステムを導入して、記録をつけている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			6か月ごとに面談を実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	<input type="radio"/>			複数の基本活動が行えるように、年間計画を

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	相談支援事業所ではないため
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校や保護者からお知らせをいただいたり、送迎時に学校の先生から申し送りを受けるなどして調整している。
	㉒ 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医からの指示書をいただき、支援している。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保育園幼稚園等のご利用がない。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ場での支援内容等の情報を提供する等しているか		○		求めがあれば、情報共有するようにしている。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	外部主催の強度行動障害の研修や、福祉サービス苦情解決研修会を受講している。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○		児童館、公園、博物館などを利用して一般の子供たちと触れ合う機会を設けている。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後、検討していく。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃から保護者とのコミュニケーションを多くとるようにし、相談をしやすい状況をつくるようにしている。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			状況に合わせて、行っている。
保護者への説明責任等	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			時間をかけて、一つ一つ説明するようにしている。質問があった場合には適切に答えている。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日頃から保護者とのコミュニケーションを多くとるようにし、相談をしやすい状況をつくるようにしている。
	㉒ 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年一回保護者会をひらいている。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			責任者を決め、責任者は外部研修を受けて適切な対応をとれるようにしている。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページやSNSを定期的に更新している。紙媒体の会報は毎月発行している。
	㉕ 個人情報に十分注意しているか	○			鍵のついた棚に保管している。
	㉖ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			日頃から保護者とのコミュニケーションを多くとるようにし、相談をしやすい状況をつくるようにしている。できるだけ要望に答えらるるよう配慮している。
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			行事開催の際は事前に告知をして、協力をお願いしている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員への周知はできているが、保護者への周知はまだできていないこともあるので、会報などを通じて対応していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間2回実施している。地震・火災・水害に分けて内容を決めている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年、外部研修に参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画を作成するときに了解を得て、記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者から提出された情報で、食物アレルギーへの対応をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			定例会議にて、共有している。